



コミュニティ・スクールだより

R5.No.18

上林地域の秋祭り

練習風景の御紹介

上林地域では、2日間開催で秋祭りが行われました。この秋祭りに向けて、上組・下組では、9月下旬頃から獅子舞の練習が始まるそうです。9月28日には下組の、10月4日には上組の練習を見学させていただきました。ほんの一部ですが御紹介します。

上組は、雄獅子です。子どもが弓矢や傘、剣で獅子を起こし、雄獅子は足を高く上げ、前後左右に激しく飛びながら舞います。獅子の動きに合わせて、子どもも大きく動きます。



下組は、雌獅子です。子どもが鉄砲、傘、ぼんでんで獅子を起こし、獅子と舞います。しなやかに、力強く舞う獅子です。練習用の獅子頭を持たせていただくと、その重さで手首が折れ曲がる程でした。この日は、太鼓の名人の森敏雄さんがばちの作り方を伝授されていました。



太鼓は、口太鼓で受け継がれているそうです。下組の新神楽の口太鼓の資料を平岡尚徳さんより提供していただきました。(一部抜粋)

新神楽 (口太鼓)

まえのきり

ドコドコドコドコドコ

(おかしな音、おかしなリズム)

ドコドコドコ ドコドコドコ ドコドコドコ ドコドコドコ

(おかしな音)

(おかしな音)

(おかしな音)

(おかしな音)

ドコドコドコドコ ドコドコドコドコドコ

(おかしな音)

(おかしな音)

10月7日 宮出し

秋祭り一日目は、地域の方が保育所に集まって開催されました。巫女さんの準備をして待つ子どもたちは、緊張しながらも、拝志神社から神輿とともにみんなが上がって来るのを楽しみにしていました。



いよいよ神輿が到着です。上組と下組、子ども神輿がやって来ました。



神事が始まり、巫女の舞、下組と上組の獅子舞と続きます。巫女は、大野ひよりさんと森優月さんです。下組の獅子舞は石山嘉惟さん、石山公也さん、重松幹大さん、太鼓は日野隆さん、森幸一さんが担当されました。上組の獅子舞は森悠貴さん、森貴文さん、桂浦新吾さん、太鼓は杉木和重さん、塩見十紀男さんが担当されました。お菓子撒きの後は、おやじとおやすの出番です。おやじは平岡尚徳さん、おやすは森泉さんが担当されました。上林の伝統ある鈴神楽と獅子舞、おやじとおやすに、会場全体から大きな拍手が送られました。



今年は子ども相撲のために、本格的な土俵が作られており、土俵際の粘りが見られました。幼稚園児から高校生までが参加し、会場はおおいに盛り上がりました。優勝したのは、1年 小泉紗花さん、2年 尾濱琥太郎さん、3年 石山嘉惟さん、4年 平岡朔さん、5・6年 石山結由さん、中学・高校生男子 神野凱飛さん、女子 石山裕菜さんです。おめでとうございます。



体育館ではビンゴゲームが行われ、楽しい時間となりました。地域の方が一つになって賑わった秋祭りとなりました。上林のすばらしい伝統行事を、これからも大切にしたいとの思いが詰まっていた。子どもたちにとっても、心に残るすばらしい秋祭りとなりました。

